

令和2年11月20日
自動車局総務課
旅客課

バス・タクシー車両やバスターミナルのバリアフリー化が着実に進捗 ～ 令和元年度末 移動等円滑化実績等報告書の集計結果(概要) ～

令和元年度末におけるバリアフリー化の主な実績について、ノンステップバス車両数が対前年度1,522台増の29,096台、バスターミナルの段差が解消されている施設数が対前年度1施設増の84施設、福祉タクシー車両数が対前年度8,462台増の37,064台となっており、バリアフリー化が着実に進捗しています。

平成18年12月の「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(平成18年法律第91号)」(バリアフリー法)に基づき、バス、タクシー等の各事業者においては、事業の用に供する車両や施設の一層のバリアフリー化が求められています。

この度、令和元年度末における乗合バス車両、貸切バス車両、バスターミナル及び福祉タクシー車両の移動等円滑化実績等報告書を取りまとめました。

国土交通省においては、ノンステップバス、福祉タクシー等の導入に対する財政的支援の実施等により、今後も引き続き、公共交通のバリアフリー化の実現に向けた取り組みを推進していきます。

令和元年度末のバリアフリー化の進捗状況 (()は、対前年度からの増減)

■ バス車両のバリアフリー化 【別紙1】

乗合バス ノンステップバス：61.1%(約2.3ポイント増)、リフト付きバス等：5.2%(約0.1ポイント増)
貸切バス(ノンステップバス、リフト付きバス等)：1,081台(68台増)

■ バスターミナルのバリアフリー化 【別紙2】

1日当たりの利用者数が3千人以上の施設：95.1%(約1.5ポイント増)

■ 福祉タクシー車両の導入状況 【別紙3】

福祉タクシー(ユニバーサルデザインタクシーを含む)：37,064台(8,462台増)

<参考>

- ノンステップバス等の車両数の推移 [参考資料1]
- ノンステップバスの導入率が高い乗合バス事業者ベスト30 [参考資料2]
- 都道府県別移動円滑化基準適合車両導入状況 [参考資料3]
- リフト付きバス・スロープ付きバスの導入数が多い貸切バス事業者ベスト20 [参考資料4]

なお、公共交通機関全体におけるバリアフリー整備状況は、総合政策局ホームページに掲載しています。(URL：http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/barrierfree/sosei_barrierfree_mn_000003.html)

【問い合わせ先】

- ・ 乗合バス、貸切バス、福祉タクシー関係：自動車局旅客課 本間、祖父江
代表 03-5253-8111(内線 41-212)、直通 03-5253-8569、FAX 03-5253-1636
- ・ バスターミナル関係：自動車局総務課企画室 高橋、河村
代表 03-5253-8111(内線 41-155)、直通 03-5253-8564、FAX 03-5253-1636